



ゴールを めざせ!

(記事P16)

主な内容

- 老人保健（医療）制度の改正 2～3
- 平成12年度上半期町の財政状況報告 4～5
- 機能訓練の仲間募集 6
- 壬生高生の職場体験学習報告 8～9

70歳以上の皆さんへ 老人保健（医療）制度の改正

平成13年 1月 1日から

高齢者の医療費自己負担が定率 1割に

国民健康保険などの医療保険に加入している方が、70歳（一定の障害のある方は65歳）以上になると「老人保健」という制度でお医者さんにかかることとなります。この制度は、高齢者の方がお医者さんにかかるときの費用負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにするための制度です。しかし、急速に高齢化社会が進むなか、老人医療費は急増の一途を辿っており、老人保健制度の運営は非常に厳しい状況となっております。このようななか、国の医療保険制度改正関連法が成立し、以下のように老人保健（医療）制度の改正が行われました。

今まで、高齢者が医療を受けたときの一部負担は「1日いくら」（定額）でしたが、平成13年1月1日から「かかった医療費の1割負担」（定率）に変わります。ただし、高齢者にとって負担になり過ぎないように1か月の負担額には上限（限度額）があります。

外 来 の 場 合

外来でお医者さんにかかったときに自分で支払う費用（一部負担金）の限度額は、次のようになります。

☆診療所（病床が19床未満）及び病院（病床が200床未満の医療機関）

ひとつの診療所・病院ごとに
1か月3,000円を限度に負担

診療所によっては1日800円の
定額負担の場合もあります

（1か月に4回（3,200円）を限度に負担）

◎薬を院外（薬局）で処方する診療所、病院の場合

診療所及び病院に1割（月額上限1,500円）、薬局に1割（月額上限1,500円）をそれぞれ支払います。

また、定額負担の場合は、薬局での負担はありません。

☆病院（病床が200床以上の医療機関・町内では獨協医科大学病院のみです）

1か月5,000円を限度に負担

◎薬を院外（薬局）で処方する病院の場合

病院に1割（月額上限2,500円）、薬局に1割（月額上限2,500円）をそれぞれ支払います。



入院したとき

入院したときに自分で支払う費用（一部負担金）の限度額は、次のようになります。

○入院一部負担金（自己負担）の限度額

一般加入者	月額上限37,200円
住民税非課税世帯等	月額上限24,600円
住民税非課税世帯等で高齢福祉年金受給者	月額上限15,000円
長期特定疾病患者	月額上限10,000円



○入院した時の食事代（医療費とは別に定額の自己負担分を支払います）

一般加入者	1日当たり 780円	
住民税非課税世帯等	90日までの入院	1日当たり 650円
	過去1年の入院日数が90日を超える入院	1日当たり 500円
住民税非課税世帯等で高齢福祉年金受給者	1日当たり 300円	

※住民税非課税世帯等の人は、「認定証」が必要ですので、町福祉課に申請してください。

◆高齢者の方の医療費が入院により高額になったとき

- ①同一世帯内の複数の老人が入院
 ②一人で同一の月に2か所以上の病院に入院 } し、医療費がそれぞれ30,000円（住民税非課税世帯等は21,000円）以上の場合、患者負担分を合算して、自己負担額の37,200円（住民税非課税世帯等24,600円）を超えた分が、高額医療費として支給されます。

(例)同じ世帯内の老人医療受給者A男さんが30,000円、B子さんが32,000円の医療費を支払った場合

A男さん	30,000円	+	B子さん	32,000円
------	---------	---	------	---------

||
世帯合算 62,000円

37,200円 自己負担分	24,800円 高額医療費として支給
------------------	-----------------------



老人訪問看護を利用したとき

老人訪問看護を利用したときは、かかった費用の1割を負担します。1か月に3,000円を限度とします。施設によっては、1日につき600円（1か月5回まで）の定額負担の場合もあります。

■ 問合せ先 ■ 町民生部福祉課医療保険係 ☎81-1832

状況報告

(平成12年9月30日現在)

町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくために、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年2回(6月・12月号広報)財政状況を公表しています。

今回は、平成12年度上半期(平成12年4月1日～9月30日)の収入と支出の状況についてお知らせします。

一般会計執行状況

■ 予算現額
■ 上半期収入・支出額

歳入

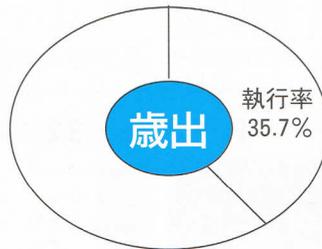
収入済額 63億3,372万7千円 (収入率59.9%)

科目と予算額

町税	47億447万1千円	29億5,402万8千円
地方交付税	27億246万2千円	19億2,651万2千円
町債	2億5,870万円	
国庫支出金	5億1,621万2千円	3,774万2千円
県支出金	5億434万円	7,527万2千円
繰越金	3億2,263万3千円	5億3,036万8千円
繰入金	1億2,000万3千円	
地方消費税交付金	3億円	2億997万8千円
諸収入	2億3,778万4千円	3,519万1千円
使用料及び手数料	1億4,797万8千円	9,573万4千円
地方譲与税	1億6,000万円	5,128万8千円
自動車取得税交付金	1億円	4,122万3千円
財産収入	951万9千円	147万円
分担金及び負担金	9,214万5千円	4,443万1千円
地方特例交付金	1億7,093万4千円	1億7,093万4千円
ゴルフ場利用税交付金	5,000万円	2,070万円
利子割交付金	9,000万円	6,310万円
交通安全対策特別交付金	1,000万円	462万2千円
寄附金	7,100万2千円	7,113万4千円
特別地方消費税交付金	1千円	



予算総額
105億6,818万4千円



諸支出金	3千円	
災害復旧費	1,385万円	304万5千円
予備費	1,741万9千円	
労働費	1,705万9千円	742万3千円
議会費	1億5,513万円	7,424万5千円
商工費	3億7,791万2千円	2億3,420万8千円
農林水産業費	4億8,903万8千円	9,820万7千円
消防費	6億4,174万3千円	2億9,896万円
衛生費	8億9,990万6千円	3億1,066万6千円
公債費	11億3,581万1千円	5億5,197万8千円
教育費	13億3,230万4千円	6億1,306万7千円
総務費	13億151万9千円	5億9,406万1千円
民生費	17億1,919万9千円	6億1,410万1千円
土木費	24億6,729万1千円	3億8,213万8千円

支出済額 37億7,249万9千円 (執行率35.7%)

歳出

科目と予算額

歳出の主な内容

(活用のされ方)

歳出予算の内容は、その目的ごとに款と呼ばれる区分で計上されています。主な款がどのようなことに活用されているのかを説明します。

◎総務費

他の事業・事務の増減に特に関係なく、通常必要とされる経費で、本庁舎・出先機関等の維持管理に要する経費や全般的な管理事務、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費等が計上されています。

◎民生費

住民が一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費で、具体的には社会福祉、身体障害者、高齢者、児童福祉、生活保護及び災害救助関係の経費等が計上されています。

◎衛生費

住民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費で、健康増進・医療の充実及び環境の保全等に要する経費が計上されています。

◎農林水産業費

農業の振興を図るための各種支援・補助や生産基盤の整備に要する経費が計上されています。

町の財政

特別会計執行状況

国民健康保険

予算額	29億1,654万9千円
収入済額	12億1,006万4千円
支出済額	10億1,517万2千円

公共下水道事業

予算額	15億335万7千円
収入済額	2億9,636万8千円
支出済額	4億9,948万8千円

(収支の不足額は、一般会計から運用しました。なお、公共下水道事業には、都市計画税の一部が充当されています。)

奨学資金

予算額	189万5千円
収入済額	411万4千円
支出済額	168万4千円

老人保健事業

予算額	30億3,839万9千円
収入済額	11億8,081万3千円
支出済額	11億9,276万円

(収支の不足額は、一般会計から運用しました。)

介護保険事業

予算額	10億4,979万5千円
収入済額	2億1,564万6千円
支出済額	2億6,443万3千円

(収支の不足額は、一般会計から運用しました。)

農業集落排水事業

予算額	10億5,040万1千円
収入済額	1,138万3千円
支出済額	2億4,038万2千円

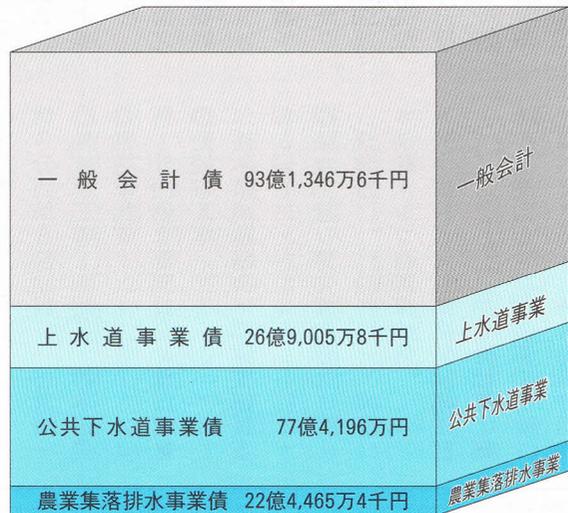
(収支の不足額は、一般会計から運用しました。)

税の負担状況



18,659円	45,475円	967円	2,481円	2,256円
町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
57,126円	139,222円	2,961円	7,597円	6,906円

地方債現在高



水道事業

収益的収支

予算額	5億762万9千円
事業収益	3億451万1千円
事業費用	1億5,130万4千円

資本的収支

予算額	3億9,148万4千円
資本的収入	0円
資本的支出	9,096万4千円

資本的収支の収入が支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金で補てんしました。

- ◎**商工費**
商工業の振興を図るため各種支援及び観光事業等に要する経費が計上されています。
- ◎**土木費**
道路、橋、公園などの社会資本の整備・維持管理に要する経費が計上されています。
- ◎**教育費**
小中学校教育の実施・充実、社会教育・生涯学習の推進、芸術・文化・スポーツの振興に要する経費が計上されています。
- ◎**公債費**
町債の元金の返済と利息の支払いに要する経費が計上されています。

永年勤続者等を表彰 町消防団通常点検



機械器具を点検

町消防団（中根幸男団長、団員203名）の通常点検が11月23日、壬生小学校校庭で行われました。町内外の消防関係者等の来賓が見守る中、人員・服装点検、機械器具点検、ポンプ操作の点検、会場を藤井橋下流に移しての放水点検などが、団長の指揮のもと迅速に行われました。

また、永年勤続者や退団者、消防協力者の表彰が行われ、最後に蘭学通りを分列行進し、点検を終りました。

表彰（敬称略）

栃木県消防協会会長表彰

◎功績章 第2分団長 大橋公一

◎勤続章25年 副団長 鈴木正美

◎勤続章10年

第1分団第3部団員 荒川信之

栃木県消防協会下都賀支部長表彰

◎功績章

第3分団第5部団員 吉葉清一

◎勤続章5年

第1分団第1部団員 丸本久雄

第2部団員 早乙女英敏

第3部団員 松本 亨

第4部団員 小宮山昭彦

第4部団員 毛塚英雄

第4部団員 篠原謙二

第4部団員 松本政男

第5部班長 小谷野光弘

第5部団員 水島秀樹

第2分団第3部部長 山口 勲

第3部班長 清水 勇

第3分団第2部部長 菊地政一

第2部団員 上田純一

第3部部長 佐藤 達

第4部部長 高山比呂幸

第4部班長 鈴木利寿

第4部団員 細井宏美

第5部団員 田中 武

石橋地区消防団連絡協議会長表彰

◎優良部 第2分団第5部 第3分団第1部

壬生町長表彰

◎功績章

第3分団第5部団員 吉葉清一

◎勤続章25年 副団長 鈴木正美

◎勤続章10年

第1分団第3部団員 荒川信之

◎勤続章5年

（栃木県消防協会下都賀支部長表彰と同じ）

◎優良部及び努力賞の部

（優良部）

*消防ポンプ自動車の部

第2分団第1部

第3分団第1部

*小型動力ポンプ積載車の部

第1分団第3部

第2分団第5部

機能訓練の仲間を 募集しています

町では、脳卒中後遺症や老化により心身の機能が低下している方で、医療終了後も医師が継続して機能訓練が必要と判断した方を対象に、機能回復訓練を実施しています。

対象者によりA型（基本型）、B型（地域参加型）に区分し実施しています。

A型（リハビリ水曜会）

訓練内容は、歩行、起き上がり、立ち上がりなどの日常生活上の機能の維持及び回復に重点をおきマツト運動や器械を使った訓練を週1回水曜日に実施しています。



B型（リハビリ水曜会）

訓練内容は、マット運動やレクリエーションゲームなどを週1回水曜日に実施しています。

会場 町保健福祉センター
時間 午後1時30分～3時30分
実施期間

A型6か月を一期間

B型1年を一期間

参加費 無料

申込方法

訓練を希望する人は、機能訓練実施申込書及び指示票（保健課、保健福祉センターにありますが）を提出ください。訓練の実施が適当と認められた方には、決定通知書をお渡します。*見学を希望される方は、左記へご連絡ください。

申込み・問合せ先

役場保健課健康増進係

☎81-1835

保健福祉センター

☎82-13588



〈努力の部〉

*消防ポンプ自動車の部

第2分団第3部

*小型動力ポンプ積載車の部

第2分団第4部

感謝状

◎平成11年度退団者

越路正一 他37名

◎防火貯水槽土地提供者

羽生田地区 白井和子

◎消防器具置場等土地協力者

下稲葉地区 中嶋文一郎

◎消防団行事協力者

陸上自衛隊音楽隊

◎消火協力者

本丸地区 伊藤由美子

藤井地区 武内 智

藤井地区 (有)とちぎや

教育功労者を表彰

町教育文化祭

町教育委員会主催による壬生町教育文化祭が11月22日、中央公民館で行われました。

教職員をはじめPTA等、関係

者160名が参加した式典では、松本教育委員長のあいさつに続いて、町教育振興のため永年活動され、功労のあった方々に表彰状が、また、寄付をされた方々、本町を最後に退職された方々に感謝状が贈られました。式典終了後、栃木県総合教育センター所長、坂入三男氏による「親の意識と現在の教育課題について」と題した講演が行われました。

あいさつする松本教育委員長



受賞者(敬称略)

- ◎町内20年以上勤続教育関係職員
大出常三郎 石橋町大字上古山 1502011
- ◎本町教育振興のための金品寄付者
大島 佳子 壬生丁247
向田 甲子 鹿沼市千渡町 1420
- 荒川 仁平 東京都中野区大和町 412107
- 岡 勝之 東京都豊島区西池袋 213611310
- ◎本町を最後に退職された教職員
石川 義郎 宇都宮市茂原町 21916
- 早乙女勝代 西方町大字金井 49011
- 柏木 史子 宇都宮市平松本町 35011
- 柏崎 輝江 石橋町大字下古山 860

万町の神永守恵さん 勲六等瑞宝章を受章



秋の叙勲で、万町の神永守恵さんがこのたび勲六等瑞宝章を受章されました。

神永さんは、昭和22年に東京鉄道郵便局に入局され、両国駅派出所を皮切りに、東京駅、小山駅、上野駅等の各分局に勤務され、昭和61年に退職されました。

この間、38年9ヶ月の永年にわたり郵政業務に携わり、郵政事業の発展に貢献され、これらの功績が認められました。

安塚小の塚崎さん 県教育委員会から表彰される

平成12年度栃木県模範教育関係職員の表彰式が11月7日県公館で

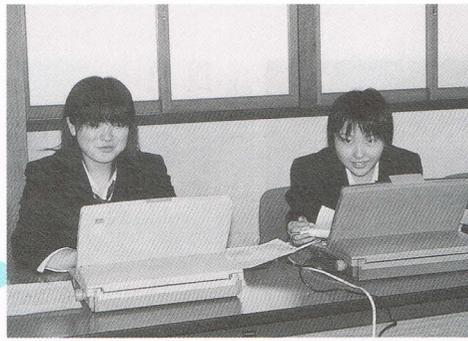


中央が塚崎さん

開かれ、その席上、安塚小学校用務員の塚崎紋一郎さんが、県教育委員会から表彰されました。

塚崎さんは、昭和52年から羽生田小学校をはじめ、稲葉小学校や南犬飼中学校、安塚小学校で23年7ヶ月にわたり、本来業務はもとより、早朝から校舎の開錠や児童生徒の登校指導等に携わり、児童や保護者等からの信頼も厚く、これらのことがこのたび認められたものです。

かしていきたい 職場体験学習



私たちは広報の編集を体験しました
(左側山川輝恵さん、右側山川由起子さん)

職業を体験することにより、自分の将来を考えてもらうことも現在の高校生活を見直すきっかけにしておらうと、壬生高校では、11月7日～10日にかけて、生徒の職場体験学習を実施しました。この取り組みは今年初めてで、1年生238人が自分の希望する町内外の事業所等でさまざまな体験をしました。役員関係では、保育園や図書館をはじめ、建設課、水道課、清掃センター、企画財政課などに34人が訪れました。今回、企画財政課で広報の編集に当たった2人の生徒の方に、同級生が各職場で頑張っている様子を取材してもらいましたので、紹介します。

現場の皆さんご苦労様

私達は、役場の水道や建設を担当している課に職場体験に来ている生徒を取材しました。

職場体験の1日目、水道課では奇数月の1日から10日ごろになると、水道の検針員さんが忙しくなることを知りました。1人で1,000件から1,500件もの検針の仕事をごささなければならぬそうです。

生徒の体験内容は、各家庭の水道メーターで、使用量を調べて機械に入力し、使用量明細書を印刷、それをその家のポストに入れるというものでした。

検針員さんに、この仕事で苦労した点を聞くと、「雨が降ったり、犬がいたりすると思うように仕事ができない」と話していました。

また、体験をした生徒に感想を聞いてみると、「興味があつてこの職場を選んだだけだったけれど、実際に仕事をしてみたら思っていたよりも楽しかった」と話していました。

2日目は、建設課の道路補修に行ってきました。道を通るのに支障がある場所、危険な場所を直します。まず、でこぼこの道に温度が150から170度くらいのアスファル

ト合材を敷き詰めスコップで平らにしていきます。そこに、水を掛けて冷ましながら機械で形を整えます。この作業のような小さいものは1日5か所、穴を埋めたりするのは30か所くらいやるそうです。また、今までの中で大変だったことは「災害などで、急に橋などが壊れてしまった時」と話していました。

体験者は「簡単だと思っただけ

本が見つかると 私も嬉しい

町立図書館には、13万から14万冊の本の他にCD、ビデオ、雑誌、紙芝居等があります。

司書さんは、それらのある場所を把握していて、本の貸出しや返却された本を元の場所に戻したり、新しい本の登録などを行っています。司書さんにどうしてこの職業を

れど難しく時間がかった。でも、楽しいから毎日でもやりたい」と笑顔で話してくれました。

この2つの取材の中で私たちの生活の中にはこういったことをしている人達がいて、快適な生活ができるのはその人達が色々な場所を管理しているからなのだということが分かりました。

記者 山川由起子



ただ今検針の指導中です



「意外と難しい」道路補修中の一コマ



「きれいな本でいたいから」
ブックカバーをかけています

職場体験をした生徒は「本関係の仕事がやりたかった」という希望理由で図書館を選んだそうです。体験した感想は「本を探すのが難しかった」「仕事の内容が予想とは違った」「こんな仕事を素早く判断してできる図書館の人はすごい」「思っていたよりもコンピュータを活用しているので戸惑った」と、午前中パソコンで新しい本の登録を体験した皆が話してくれました。

記者 山川由起子

生 徒 高 生 の 体 験 を 将 来

子供の成長が 楽しみ

私達が取材に行ったときもしい保育園では、ちようどおやつ
の時間でした。職場体験に来ていた
生徒はおやつを配る手伝をしたり、
食事の補助をしていました。

保育士をしていてよかったとき
について園長先生は「今まで出来
なかったことができるようになった
り、子供の成長が見られること。
新聞や広報紙を見て、保育園を卒
業した子供が活躍しているのを見
ると、みんなで喜んでしまう」と
うれしそうに話してくれました。
体験内容はおむつ替えや食事の
補助、一緒に遊んだり散歩をした
そうです。体験をした生徒は「子

供が小さかったのでどうすればよ
いかわからなかった」とか「ま
だ1日しかしていないけど楽しかっ
た」「子供たちと遊ぶのは大変」
とそれぞれ思ったようです。

この仕事に就いた理由について
保育士さんは「子供のころからの
夢だった」と話してくれ、将来保
育士になりたい人へのアドバイス
としては、「不安はあると思うが、
やりがいがある仕事。この仕事が
やりたいと思う素直な気持ちが大
切」と話してくれました。

保育士は、子供の気持ちに添う
ことができず、空回りしてしまっ
たりという苦労もしています。
楽しいことだけでなくそういつた
苦労もあるということも理解して
保育士を目指してほしいと思いま
した。

記者 山川輝恵



子供たちにおやつを配っています

「ありがとう」と笑顔がうれしい

私達が訪れた時、老人保健施設
みなと荘では老人の方と介護員さ
ん、職場体験の生徒達が散歩をし
ていました。職場体験をしていた
生徒は老人の方が乗った車椅子を
押していました。ほんのわずかな
傾斜でも車椅子を逆向きにして下
たりと気を配っていました。

介護員さんがこの仕事に就こう
と思った理由について「物と接す
るより人と接する仕事でしたかっ
たから」と話してくれました。ま
た「ありがとう」という言葉と笑
顔がとてもうれしいと言っていま
した。将来介護員になりたい人へ
のアドバイスとしては「うれしさ
や悲しさなどの自然な人の気持ち

をたくさん感じてほしい」と話し
ていました。

老人の方は「一生懸命やってく



車椅子を移動させようとして
いるところです

れている」と生徒のことを褒めて
いました。

体験をした生徒は「思ったより
も大変な仕事」「日頃自分達が普
通にしていることでもお年寄りの
方にとっては一つ一つが大変なん
だということがわかった」と実際
体験してみte思ったようです。

介護員さんへのインタビューの
中で、苦労はありますかと聞いた
ところ「ないです」と答えてくれ
ました。介護員という仕事が好き
だからこそそのようなことがいえ
るのではないかと思います。また
人と接するという難しい仕事で、
車椅子を押したりと体力もいるの
で思っていたよりも大変だと思
いました。

記者 山川輝恵

感想

今回の職場体験は大変でした。
インタビューで何を質問してい
いから分らず悩んでしまったり、い
ざインタビューをすると緊張して
しまいました。それに、質問した
内容を文章に起こすのがとても大
変でした。

でも、たくさんの人と話ができ
て良い体験になったと思います。
これからの生活に生かしていこう
と思います。

記者 山川由起子

町の広報紙の編集はとても大変
でした。取材先でのインタビュー
は緊張してしまつてなかなか思
うようにいかなかったし、記事にま

とめる作業はとても難しかったで
す。取材は5か所行きましたが、
どの職場でも生徒が一生懸命取り
組んでいて真剣さが伝わってきま
した。今回の職場体験では多くの
ことを学びました。そのことを将
来に生かしていきたいと思いま
す。とてもよい経験になりました。あ
りがとうございました。

記者 山川輝恵



明るい町をつくろう

人権の集いに200人

集いでは、まず、主催者を代表

して清水町長から挨拶があったあと、町内小・中学生を対象に実施した人権啓発ポスター・作文の入賞者の表彰が行われました。

続く発表会では、作文の部で最優秀に輝いた壬生小2年五味田康恵さん、南大飼中3年稲毛田美歩さんの3名から入賞作品の朗読発表がありました。

また、弁護士小林正憲先生の講演では、「子どもをめぐる現在の状況」と題して、学級崩壊やいじめ問題、児童虐待、少年の犯罪、非行の現状やその防止策などについてお話があり、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。



小学生の部最優秀 神永紗緒里さんの作品



中学生の部最優秀 渡辺佳美さんの作品

人権啓発ポスター入賞者

★小学生の部 (敬称略)
最優秀 神永紗緒里 (稲葉小5年)

★中学生の部
最優秀 渡辺佳美 (壬生中2年)

人権啓発作文入賞者

★小学校低学年の部
最優秀 五味田康恵 (壬生小2年)

★小学校高学年の部
最優秀 石村知美 (壬生東小5年)

★中学生の部
最優秀 稲毛田美歩 (南大飼中3年)

題名「わたしの足」

題名「いじめのない世界をめざして」

平成12年度明るい選挙啓発ポスターコンクール 県審査(第二次審査)で12名が入賞

明るい選挙の啓発活動の一助とするため、全国の児童生徒を対象とした「第52回明るい選挙啓発ポスターコンクール」が行われました。

県内の小・中・高生から総数3千153点の作品が寄せられ、第一次審査(市町村単位)を通過した818点(第二次審査(県)に出品されました。

本町においても、163点のほる作品の応募があり、その中から優秀作品として、第二次審査推薦作品20点、下都賀郡町村選挙管理委員会連合会入選作品5点が選ばれました。

第二次審査の結果、本町では、入選に6点、佳作に6点が選ばれ、全部で12点が賞に入るすばらしい成績を上げました。

審査結果は次の通りです。
●第二次審査(県)入選

- 鯉沼 悟史(壬生小5年)
- 橋本 尚幸(藤井小6年)
- 奥村 哲平(睦小5年)
- 賀川 明洋(壬生中1年)
- 渡邊 舞(壬生中2年)
- 宮本 みを(南大飼中3年)

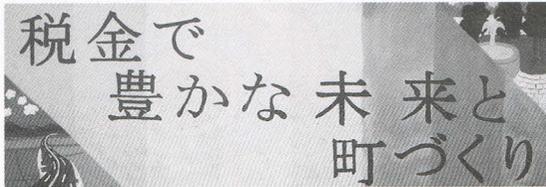
- 佳作
- 荒川 敦史(壬生小4年)
 - 益田久美子(稲葉小5年)
 - 荒川恵里奈(羽生田小5年)
 - 神永 淳美(壬生中1年)
 - 渡辺 裕子(壬生中3年)
 - 手塚 美樹(南大飼中1年)
- 下都賀郡町村選挙管理委員会連合会入選

- 小平友里恵(壬生東小4年)
 - 大久保輝枝(安塚小3年)
 - 糸川 成美(安塚小3年)
 - 渡辺 直人(壬生中2年)
 - 落合 可織(壬生中3年)
- 第一次審査(町)入選
- 山崎恵里子(壬生小6年)
 - 梁島 悠(壬生小6年)
 - 松本 茜(壬生東小6年)
 - 早乙女侑美佳(壬生東小6年)
 - 田中 雄大(睦小4年)
 - 神永紗緒里(稲葉小5年)
 - 山崎亜希子(壬生中2年)
 - 荒川 裕美(壬生中3年)

力作12点を展示

町内の小・中学生から応募された納税のポスター標語の入賞作品12点が、役場住民課窓口前の町民ホールで、「税を知る週間」(11月11日～17日の1週間)に合わせて展示されました。

これは、次代を担う町内の小学生年生及び中学2年生を対象に、納税について関心と理解を深めていただくとともに、夏休み期間を利用して考える機会にしていただこうと町で毎年実施しています。



最優秀賞 壬生小6年 渡辺瑠美さんの作品



最優秀賞 壬生中2年 白石瑛子さんの作品

今年も711点の作品が寄せられ、最優秀賞2点、優秀賞10点、佳作28点を表彰しました。

最優秀賞

渡辺 瑠美(壬生小6年)

白石 瑛子(壬生中2年)

優秀賞

真生田 瑛子(壬生小6年)

本多 洋美(壬生東小6年)

山口 なゆ(〃)

上原 裕美(壬生北小6年)

渡辺 光洋(睦小6年)

(敬称略)

また、栃木税務署で募集しました税に関する中学生の標語は、次の方々が表彰されました。

栃木税務署長賞

賀川 隆洋(壬生中3年)

標語「国のきそ 一人一人の税金で」

阿部有祐子(南犬飼中2年)

標語「外を見る ふとした所に税金が」

佐藤 舞(南犬飼中3年)

標語「税金で 緑いっぱい町づくり」

租税教育推進協議会長賞

上田 博美(南犬飼中3年)

標語「税金を 納めてつくる未来都市」

鈴木 衛(南犬飼中2年)

標語「納税は 社会と心を つなぐ橋」

山口 美保(壬生中3年)

標語「税金で 明るい未来 みんなの笑顔」

鈴木 衛(南犬飼中2年)

標語「納税は 社会と心を つなぐ橋」

鈴木 衛(南犬飼中2年)

標語「納税は 社会と心を つなぐ橋」

鈴木 衛(南犬飼中2年)

標語「納税は 社会と心を つなぐ橋」

鈴木 衛(南犬飼中2年)

鈴木 衛(南犬飼中2年)

来年の金沢にバトンタッチ!

第17回全国都市緑化とちぎフェア閉幕

9月9日より58日間開催された第17回全国都市緑化とちぎフェア「マロニエ緑花祭2000」が閉幕しました。

11月5日、宇都宮会場で行われた閉会式では、主催者を代表して渡辺知事が、58日間に及ぶフェアを支えてくれたボランティアの皆さんや地元自治会、関係機関の皆さんに感謝の意を表しました。また、「連日子供達でにぎわう様子」



緑化フェア旗が石川県へ引き継がれる

に、夢と希望に満ちた明日を確信した」とあいさつ。来賓の大島県議会議長からは、「2000年の節目の年に、140万もの人が入場され、花と緑の大切さと、本県のすばらしさを伝えられた。都市緑化に対する意識も深まり、緑を育てる輪が全国に広まるだろう」と祝辞が述べられました。

この後、次回開催地の石川県副知事らに緑化フェア旗が引き継がれ、ばなばなメイツには来年のキャンペーンスタンプ「グリーンアイズ」よりねぎらいの花束が贈られました。

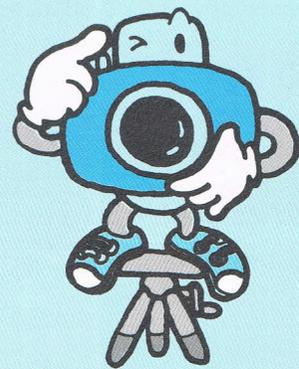
来年は、石川県金沢市の金沢城址公園周辺で9月8日から65日間「夢・緑・いしかわ2001」と題し、「人と緑が織りなす文化のくにづくり」をテーマに開催されます。



ただいま
活動中 19

「おもしろおかしく
そして楽しく」

仲通町商店会



みんなの
広場

皆様のご応募を
お待ちしております!



大盛況の呑龍朝市

仲通町商店会は平成9年に会員29名で発足しました。小売業や卸売業、サービス業、飲食業など様々なメンバーで構成されています。当初は、町からの要請もあり、地元の活性化につながればと協力してきましたが、現在は町内会全

体で応援してくれ、「自分たちのできることから始めよう」と日々活動しています。

活動内容は、
*呑龍朝市の開催

興光寺参道で開催され、今回で6回目となりますが、毎回人がすれ違えないほどの大盛況で、会員一同大感激しています。

*のれんの作成

埼玉県川越市から学び、商店会のイメージアップを図るとともに、蘭学通りの名に恥じぬよう店先に統一デザインののれんを飾っています。

*緑化フェアへの協力

前年の新潟フェアを視察、参考にし、物産品を展示、販売して地元PRを行いました。また毎年7月に行われる八坂祭御輿を展示し地元のPRを行いました。

夏には、ふるさと祭り協力、年2回の会報の発行など仲通町商店会ならではの活動を行っています。

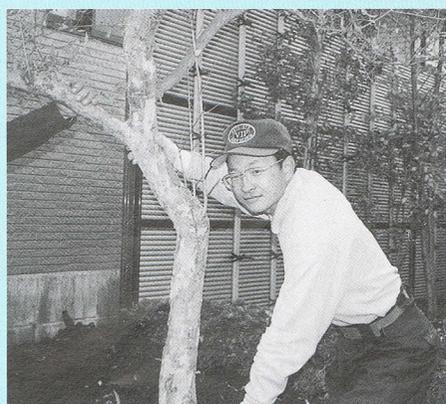
今後は、呑龍朝市の年3〜4回開催を目標とし、また、ポケットサイズの地元おさんぽマップ(商店や観光スポットを掲載する)なる物を作成したいと思っています。

が ん ば れ

社会人 (No.15)

(有)山川造園

清野 信夫さん



県が力をいれて開催した緑化フェアも、来場者が壬生会場、宇都宮会場併せて140万人と、大成功のうちには終わりました。本当にうれしく思います。

私たちの仕事は、こういった県発注の公共事業、町発注の工事、町の公園管理、各事業所の庭や芝生の管理、そして個人の家の庭の手入れです。公園や事業所は年間を通して任されています。個人の家は年に1回か2回手入れに入ります。その他、薬剤散布や草刈りなどもやります。

私たちの会社は、従業員6〜7名なので、アットホームな雰囲気の良い会社です。

清野さんがこの会社に入ったきっかけは、植木が嫌いではなかった

ことと、知人の紹介でした。最初は公園の芝刈りでしたが、なれないため、足腰や肩がガクガクになり、楽しみであった弁当も、喉を通らず、お茶をかけて流し込んだこともあったそうです。今では体もなれ、毎日が楽しく、手入れ先の家人に「きれいになりましたね」などと言われた時は、やって良かったと思ひ、足腰や肩の疲れも吹き飛んでしまうそうです。

最近では営業の仕事も任せられ、現場の仕事覚えながら、営業も覚えていきます。

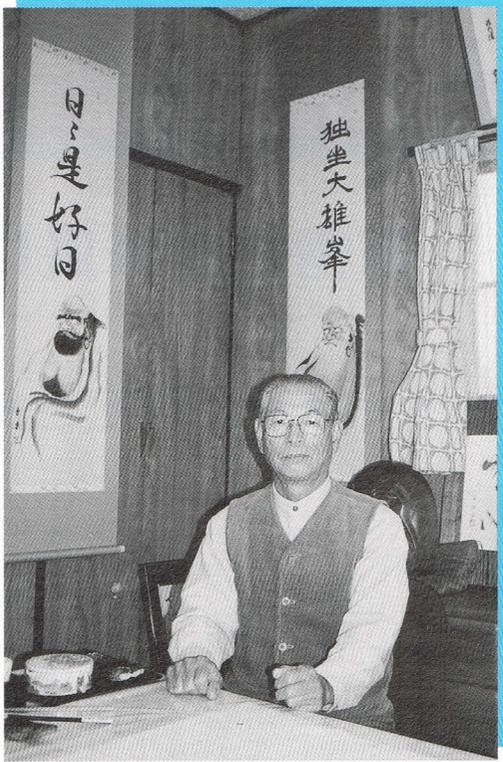
将来は、一級造園管理士の資格を取得し、自分で大きい日本庭園を造りたいそうです。

紹介者 従業員一同

とっておきの

名人

19



「明鏡止水」で取り組む

木藤さんが達磨絵を始めたのは、公民館の生きがい教室で、墨絵を習っているとき、たまたま達磨の絵を描き福祉まつりに出展。他の作品が草木や花なのに対して、珍しさからかお客さんに興味を持たれたのがきっかけだったそうです。その後、筆一本紙一枚で、集中して描くことのできる禅画にのめり込み、通信教室を経て師範の位にまでなりました。

達磨絵は、墨の濃淡のみで色々な風合いを出すことができ、下書きをせず、5分ほどで一気に描き上げます。下書きをしていると、線と目に勢いが無くなり、絵が死んでしまうということです。達磨は奥が深く、心で描かなければ良い作品ができません。「無の心」「明鏡止水」の境地で取り組んでいますが、まだ神髄には達していないということです。

達磨の神髄を 読みとる

幸町二丁目 木藤 貢さん

達磨絵は、冠婚葬祭全ての事に喜ばれ、描いていても当たり障りがなく、知人などに差し上げるととても喜ばれるので、それがうれしく、長く続く秘訣となっています。今後も健康と交通安全に気を配り、無理をしないで楽しんでいきたいと、話してくださいました。

文芸

短歌

まだ少し早すぎたねと言いたげに
われを見ており遺影の妻は

糸川 正敏

今朝も啼くからすに人の死があると
信ずる妻がひとりごと言う

鈴木 文二

夫逝きて若き二人にまかせれば
家庭円満になるやも知れぬ

奥村 トシ

麻痺の手をとれば冷たし冷たければ
しばらくじっと握りてやりぬ

野口 富代

俳句

泣きやんで母待つ園児夕月夜

青木 喜子

胃カメラのつき進みゆく半夏生

山本八重子

萩こぼる階ゆるき禪の寺

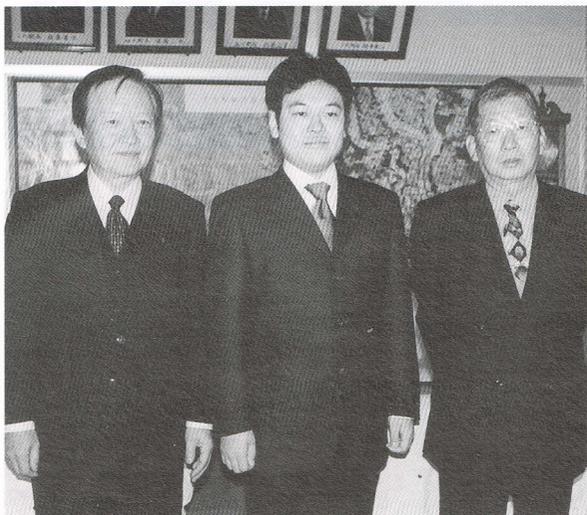
鈴木佳世子

柿熟れぬ好きだったつけおふくろは

海老沼勘一



文化祭佳作



写真中央が伊藤善宏さん

南極観測隊員に 上稲葉の 伊藤喜宏さん

上稲葉の伊藤喜一さんの長男で、現在東北大大学院に在学中の喜宏さんが、このほど第42次日本南極地域観測隊の一員として、観測

ました。

喜宏さんは、「南極に行つて、日本では体験できない自然を感じてみたい。また、大学院では地震学を専攻しており、観測結果を論文にまとめた」と抱負を話してくれ

ました。活動に参加することになりました。観測隊は総勢60人で、喜宏さんは、このうち越冬隊員として、今年の11月14日から再来年の3月27日まで、南極で地震観測に携わることになって

いなば保育園では、地域交流事業の一環として、10月31日に園児の祖父母をまねいて「秋祭り」を開催し

おじいちゃん・おばあちゃんと 土鈴づくり 10/31

ました。祭りでは、歌や手遊びの他、壬生町にはわ会の会員による土鈴づくりが行われ、土鈴の中の玉に新聞紙を巻き付け、粘土で形を作り個性豊かな土鈴を作りました。この土鈴は乾燥させ、11月22日に、嘉陽が丘ふれあい広場にて焼き上げられました。

園児達は、いっしょに焼いたサツマイモを頬張りながら、完成した土鈴の音に聞き惚れていました。



わたし・ぼくの作った土鈴はよくやけるかなあ？

びっくり農園収穫祭11/4 かんぴょう巻きギネスに挑戦

緑化フェア会場のびっくり農園で4日、収穫祭が開かれ、長さ103mのかんぴょう巻き作りに挑戦しました。この収穫祭には壬生東小児童394人と父兄が参加し、6月に田植えをして、10月に刈り取った赤米の入ったご飯120kg、海苔700枚を用意。広場に並べられた56のテーブルの上に特性のすだれを並べ、児童達と父兄が海苔、ご飯、さくらでんぶ、かんぴょうの順に乗せていき、かけ声にあわせて一

斉にすだれを巻きました。当日は天気が良く、フェア入場者が多く、収穫祭の周りは黒山の人だかりとなり、端の方では見物人に海苔の巻き方や押さえ方などアドバイスを受けている一幕がありました。

児童達は、できあがったかんぴょう巻きを20cmほどの高さで5秒間持ち上げ、切れないか確認し、収穫祭の成功に歓声を上げていました。この記録を同校ではギネスに申請するそうです。



せーの！巻いて～！のかけ声ですだれを巻く

上位入賞された皆さん



消火競技で技術の向上 9/20 壬生町消火競技大会

備付けの消火器で消火競技を行い、消火技術の向上と消火器取扱の習熟を目的とした壬生町消火競技大会が、9月20日、町総合運動場で行われました。

大会には、指揮者と消火者が2名1組となり、12組が出場、指揮者は号令、態度、消火位置の指定など、また、消火者は、消火器取扱の基本操作、消火方法、距離及び粉末のかけ方などが厳しく審査されました。

成績
優勝

⑤ 阿久津洋子

⑥ 坂田寿子

準優勝

⑦ 栗橋和江

⑧ 川俣勝子

第3位

⑨ 山川百合子

⑩ 山川文字

また、上位3組が、南河内町で10月4日に行われた石橋地区消火競技大会に出場し、阿久津・坂田組が3位に入賞しました。



私たちみんなで作りしました

みなと荘に巨大壁画出現

11/11

お年寄りが牛乳パックで作る

11月11日、栃の木会しもつけ荘とみなと荘を会場に開かれた文化祭で、おもちゃ博物館と土雷ちゃんをモチーフにした巨大な壁画が展示されました。

この壁画は、作業療法の一環として、みなと荘を利用されている方々が、牛乳パック840枚を使って、その裏側にクレヨンで色を塗り、それぞれをつなぎ合わせて作成したものです。大きさは、縦約5m、横10mで完成までに約半年かかったそうです。

作成に携わったお年寄りたちは一部分しか見ていないので、出来上がった壁画を見て、大変びっくりしていたということです。

玩具やぬいぐるみを寄贈

おもちゃのまちの

前田さん

壬生駅前でファンシーショップを営んでいる前田正一さん（おもちゃのまち居住）からこのほど、町へ玩具やぬいぐるみ210点が寄贈されました。

前田さんは、「子どもたちに玩具で遊んでもらって、喜んでほしい」と倉庫にストックしておいたものを寄贈されたもので、町では、早速町の保育園で利用することにしました。



玩具で遊びいなば保育園の園児たち

中学生女子部門で大会新記録

町健康ロードレース

今年で9回目となる町健康ロードレース大会は、晴天に恵まれた11月26日、町総合運動場を発着点とするコースで行われました。大会には、小学生から一般まで160人が参加、8部門で健脚を競い

ました。なお、この大会で、中学生女子3km部門で大会新記録が生まれました。各部門優勝者は、つぎのとおりです。(敬称略)



● 親子ペア 2 km

鈴木盛一朗・智親子
(六美町中央 8分30秒)



● 小学生女子 3 km

大橋千奈都
(稲葉小 6年 13分01秒)



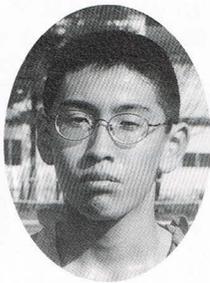
● 小学生男子 3 km

篠原 郁也
(壬生小 6年 12分36秒)



● 一般男子 3 km (40歳以上)

上田 明
(北小林 11分34秒)



● 中学生男子 5 km

出井健一郎
(壬生中 2年 17分18秒)



● 一般男子 5 km

倉井 昌之
(原宿 15分46秒)



● 中学生女子 3 km

神永 晴香
(壬生中 1年 11分47秒)



● 一般女子 3 km

原子 光子
(いずみ 16分02秒)

スポーツ

— 結果 —

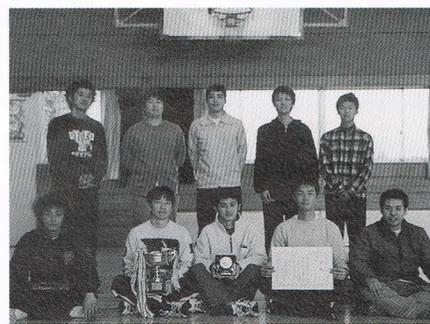
第16回壬生町バスケットボール大会

(11/5、12、南犬飼中学校新体育館、町総合運動場体育館
男子の部16チーム・女子の部6チーム参加)

成績

男子の部

- 優勝 やっつけろ!! (鹿沼)
- 準優勝 新佐野日大OB (宇都宮)
- 3位 壬生体協 (壬生)
- ハマヤン (鹿沼)



男子の部優勝 やっつけろチーム

女子の部

- 優勝 壬生クラブ (壬生)
- 準優勝 Sクラブ (河内)
- 3位 びよん (今市)
- AQUA (鹿沼)



女子の部優勝 壬生クラブチーム

佐藤さん準優勝、伊藤さんも4位に スポーツチャンバラ全日本選手権



右から佐藤愛理さん伊藤雷太さん

第54回全国レクリエーション大会INぐんま兼第26回スポーツチャンバラ全日本選手権大会が、10月29日群馬県前橋市で開催され、長剣小学4年生の部で、本町の佐藤愛理さん(壬生東小)が見事準優勝に輝きました。また、伊藤雷太さん(壬生東小)も4位に入賞しました。

情

報

箱

「消費税簡易課税 制度選択届出書」 について

消費税の課税事業者が、簡易課税制度を選択しようとする場合、「消費税簡易課税制度選択届出書」を、適用を受けようとする課税期間の初日の前日までに所轄の税務署長に提出しなければなりません。届出書の提出が一日でも遅れますと適用を受けることができないこととなりますので、提出期限にご注意ください。



また、消費税法に規定されている各種の届出書・申請書については、それぞれ提出期限が定められていますので、詳しくは税務署の担当部門までお尋ねください。

栃木税務署
個人課税部門（個人担当）
☎22-11716

法人課税部門（法人担当）
☎22-11805

栃木税務署からお願い

税務署内の駐車場を、1月から4月上旬までの間、プレハブを設置するため閉鎖しますので、お車でのご来署はご遠慮ください。
栃木税務署総務課 ☎22-11008

ご存じですか？

特別表示認証食品

県では、とちぎの豊かな自然で生産された農畜産物を原料に県内の食品加工業者がこだわりをもつ

て加工した優れた食品を特別表示食品として認証しています。これらの認証食品には、左記の「認証マーク」がつけられ販売されています。



※図案化された統一ロゴの3つの

Eは

優れた品質 (Excellent Quality)

正確な表示 (Exact Expression)

地球環境との調和 (Harmony with Ecology)

を表しています。

を表現しています。

問合せ先

栃木県農務部経済流通課

マーケティング対策班

☎028-623-2298

労働保険、社会保険 無料なんでも相談会

労働保険（労災・雇用）、社会保険（年金・諸手続）に関する無料相談会を開催します。

日時 毎月第3水曜日

午前10時～午後4時

会場 栃木県社会保険労務士会館（宇都宮市鶴田町3492-46）

相談内容・労働保険（労災保険、雇用保険）

雇用保険等）

・社会保険（年金、社会保険の諸手続等）

・労務管理（リストラ、賃金、定年、解雇等）

・就業規則、退職金等、賃金不払、解雇、定年

等に関するもの

・新規事業支援、各種助

成金制度の活用

申込み

栃木県社会保険労務士

会 ☎028-6471

2028へ2日前まで

にご連絡ください。

NHK宇都宮放送局の番組案内

NHK宇都宮放送局では、来年1月28日（日）に衛星第2放送（BS2）で「おーい、ニッポン～今日はとことん栃木県～」の放送を行い、栃木県の魅力を全国に発信します。

栃木の魅力をまるごと紹介

あーい、ニッポン
～今日はとことん栃木県～

放送日

2001.1月28日
BS2 10:00～19:00

すこやかベビー ご家族紹介



保沢 龍世ちゃんご兄弟(城内)

町では、第3子以上の児童を養育している方に「すこやか子育て支援金」を交付しています。※支援金の受給要件、申請方法等



石塚 俊貴ちゃんご兄弟(下馬木)

は、町福祉課児童福祉係(☎81-1831)へお問い合わせください。



篠原 葵ちゃんご家族(若草)



ちぎり絵 (鳥たちの森)



壬生東小6年
石村 由加里



壬生東小6年
かわわ たかひろ
川和 敬裕



工作 (森の仲間たち)

寄付

◆社会福祉協議会へ

(○)数字は寄付回数

- 羽生田西部親睦会様①⑨ 3千円
- 福和田花壇管理組合様① 1万1千82円
- 根本文子様② 1万5千円
- 地域交流センター未夢館様① 2千円
- 役場農務課① 1万円
- (有)橋本モータース商会様① 9千700円
- (有)渡辺寝装様⑩ 3千円
- ありんこ保育園フリーマーケット一同様① 1万円



成人式
(1月7日)

1月の納税等

- 国民年金(1月分)
- 町民税(4期)

納期限 1月31日

まちのうごき

12月1日現在

総人口	40,031人	(25)
男	19,719人	(15)
女	20,312人	(10)
世帯数	13,117世帯	(26)
	()内は前月比	

職員人事異動

平成12年12月1日付

○印は昇任()内は旧

▽総務部長(建設部長併水道部長)
植竹勝美▽建設部長併水道部長
(建設部建設課長) ○鈴木孝▽建設部建設課長(建設部建設課主幹)
○横嶋利光▽教育委員会スポーツ振興課長兼壬生町総合運動場長(建設部都市計画課主幹・全国都市緑化とちぎフェア実行委員会派遣) ○鈴木平八郎▽教育委員会学校教育課長(教育委員会学校教育課長兼スポーツ振興課長兼壬生町総合運動場長) 須釜修一